

タイトル：忍耐と慰めの源 (集会再開・第4週)

5/31 は、ペンテコステの日でした。週報の冒頭に、「第4週」と書きましたが、これは、ペンテコステの日から4週が過ぎたことも含意して記しました。完全数の7、・・7日、第7の週・・・、の中間、あるいは、新しい日常生活を見つめ直す為の折り返し地点かもしれません。いつも側にいて、わたしたちを慰めてくださる聖霊様の導きと喜びを感じながら朝の話を進めてまいります。

タイトルの「忍耐と慰めの源」という言葉は、YouVersionの聖書アプリをお使いになっている方は、なじみのある、日本聖書協会の「新共同訳聖書」の「ローマの信徒への手紙」の15章5節にあります。5節、6節をお読みします。

聖書【新共同訳】ローマの信徒への手紙

ロマ 15:5 忍耐と慰めの源である神が、あなたがたに、キリスト・イエスに倣って互いに同じ思いを抱かせ、

15:6 心を合わせ声をそろえて、わたしたちの主イエス・キリストの神であり、父である方をたたえさせてくださいますように。

【塚本訳】

Rom15:5 **この忍耐と慰めとを賜わる神**が、キリスト・イエスの心を体してあなた達が互いに思いを同じくするようにさせられんことを。

スライドには、岩波文庫の「塚本虎二訳・新約聖書」の15章5節を表示しています。

最初のポイントは、「忍耐と慰めの源である神」の言葉の響きです。「忍耐と慰めの神」と原語では三つの単語からなっています。「忍耐と慰めの神」・・・、とさらりと言葉の表面だけを掬い取ってしまいがちです。しかし、原語にはない言葉、「源である」を追加するとみことばの意味がよくわかるのです。これを、意味を含めて翻訳する「意識」と言います。塚本訳では、「**この忍耐と慰めとを賜わる神**」と「忍耐と慰め」という言葉に注目するのではなく、「忍耐と慰め」を私達に与えてくださる神様のすばらしさを、「心を合わ

せ声をそろえて、・・・父である方をたたえるように」(6節)と当時のローマの信徒にメッセージを伝えています。

使徒パウロは、この手紙を受け取った信徒たちの「忍耐」がなんであるのか、また、「慰め」どのようなものであるのかを、良く知っていました。その証拠は、忍耐と慰めの言葉の前につく、定冠詞、英語でいうと「THE」です。使徒パウロは、ローマのクリスチャン達の神が源として賜った、THE 忍耐と THE 慰めに深い共感を覚えていました。塚本訳は、「この忍耐」と定冠詞を翻訳します。原文の直訳をすると、「THE 忍耐 と THE 慰め の 神」となります。昨日、アメリカの kiyoe 先生に LINE で、英語の手話では、「THE 忍耐」「THE 慰め」をどのように表現するのかを質問しました。指文字で、不定冠詞の「a」、定冠詞の「the」を描いて表現するとのことでした。「この忍耐とこの慰めの神」の手話を皆さんで覚えてみましょう。

残りの時間で、「THE 忍耐と THE 慰め」についてお話をします。

「忍耐」のもとに意味は、「自分の場に固く踏みとどまる」ことです。コロナ感染の中で、私達は、それぞれに固有の THE 忍耐の場に踏みとどまらなければなりません。「忍耐」について、使徒パウロは、ローマの信徒の手紙の中で、数力所述べています。

【新共同訳】

Rom 2:7 すなわち、**忍耐**強く善を行い、栄光と誉れと不滅のものを求める者には、永遠の命をお与え

2:8 反抗心にかかれ、真理ではなく不義に従う者には、怒りと憤りをお示しになります。

○解説：忍耐の継続の良い結末と耐えきれずに不義に向かった者悪い結末の対比。

Rom 5:3-4 そればかりでなく、苦難をも誇りとします。わたしたちは知っているので、苦難は**忍耐**を、**忍耐**が練られた品性を生み出し、練られた品性が希望を生み出すと、私たちは知っているからです。

○解説：忍耐から生み出される品性の実、喜びにあふれた信仰。

Rom 8:25 わたしたちは、目に見えないものを望んでいるなら、**忍耐**して待ち望むのです。

解説：まさに、今の私達の状況を予見したかのような「忍耐」の奨めです。キリスト教がローマの国教になるまでの間、クリスチャン達は、THE迫害に耐えて耐えて耐え抜いたことを、覚えましょう。

最後は、THE慰めです。

慰め（パラ・クレイシス）

この言葉の語源は、「側に助けを呼び寄せること」です。

このTHE慰めを一番よく表しているのは、以下のパウロの言葉です。

【新共同訳】ニコリ

7:5 マケドニア州に着いたとき、わたしたちの身には全く安らぎがなく、ことごとく苦しんでいました。外には戦い、内には恐れがあったのです。

7:6 しかし、気落ちした者をかづけてくださる神は、テトスの到着によってわたしたちを慰めてくださいました。

7:7 テトスが来てくれたことによってだけでなく、彼があなたがたから受けた慰めによっても、そうしてくださったのです。つまり、あなたがたがわたしを慕い、わたしのために嘆き悲しみ、わたしに対して熱心であることを彼が伝えてくれたので、わたしはいつも喜んだのです。

解説：弟子のテトスが、パウロを誹謗中傷している教会に派遣されました。神様が働き、人々の心から汚れが一掃しました。人々は、テトスをキリストの愛でもてなしをしました。パウロへの伝言をテトスに託しました。その伝言に対するパウロの応答がこのみことばです。

もう一度、「THE 忍耐 と THE 慰め の神」の手話をして、メッセージを閉じましょう。

今朝は、ネット礼拝のために、作成されたビデオ「(^_^♪ イエスが愛したように」を流しながら、祈り心のうちに献金の時をもってまいります。

タイトル：忍耐と慰めの源（集会再開・第4週）

聖書【新共同訳】ローマの信徒への手紙

ロマ 15:5 忍耐と慰めの源である神が、あなたがたに、キリスト・イエスに似って互いに同じ思いを抱かせ、15:6心を合わせ声をそろえて、わたしたちの主イエス・キリストの神であり、父である方をたたえさせてくださいますように。

【塚本訳】
Rom 15:5 この忍耐と慰めとを贈る神が、キリスト・イエスの心を体してあなたがた達が互に思いを同じくするようにさせられんことを。

1

THE・忍耐 THE・慰め



2

【新共同訳】

Rom 2:7 すなわち、忍耐強く善を行い、栄光と誉れと不滅のものを求める者には、永遠の命をお与え
2:8 反抗心にかられ、真理ではなく不義に従う者には、怒りと憤りをお示しになります。

Rom 5:3-4 そればかりでなく、苦難をも誇りとします。わたしたちは知っているのです。苦難は忍耐を、忍耐が練られた品性を生み出し、練られた品性が希望を生み出すと、私たちは知っているからです。

Rom 8:25 わたしたちは、目に見えないものを望んでいるなら、忍耐して待ち望むのです。

3

【新共同訳】ニコリ

7:5 マケドニア州に着いたとき、わたしたちの身には全く安らぎがなく、ことごとく苦しんでいました。外には戦い、内には恐れがあったのです。

7:6 しかし、気落ちした者を力づけてくださる神は、テオスの到着によってわたしたちを慰めてくださいました。

7:7 テオスが来てくれたことによってだけでなく、彼があなたがたから受けた慰めによっても、そうしてくださったのです。つまり、あなたがたがわたしを慕い、わたしのために嘆き悲しみ、わたしに対して熱心であることを彼が伝えてくれたので、わたしはいっそう喜んだのです。

4

THE・忍耐 THE・慰め



5



6